



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社NITTOH 上場取引所 名
 コード番号 1738 URL <https://www.nittoh-info.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 中野 英樹
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長（氏名） 伊藤 寿朗 TEL 052-304-8210
 半期報告書提出予定日 2025年11月8日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,343	3.4	173	24.4	185	23.0	117	21.5
2025年3月期中間期	5,165	3.1	139	△36.2	150	△34.6	96	△36.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 127百万円（33.3%） 2025年3月期中間期 95百万円（△40.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	28.88	—
2025年3月期中間期	23.78	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	7,464	4,687	62.8
2025年3月期	7,457	4,641	62.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 4,687百万円 2025年3月期 4,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	17.00	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,900	5.5	390	40.1	410	34.4	277	△31.2	68.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	4,060,360株	2025年3月期	4,060,360株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	7,257株	2025年3月期	7,257株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	4,053,103株	2025年3月期中間期	4,053,103株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、一部の国内企業において米国の通商政策の影響が見られるものの、全体としては緩やかな回復基調を維持しました。物価面では、消費者物価が上昇を続けており、個人消費には大きな影響が及んでいますが、部分的には購買力の持ち直しの動きも見られました。

海外においては、米国の通商政策の動向、欧州での景気の足踏み、長期化する中東情勢などの地政学的リスクといった外的要因が経済活動に影響を及ぼしており、景気や金融市場の下振れリスクが懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いています。

このような経済環境のもと、住宅建築業界では、2025年4月に施行された省エネ基準に関する法改正に伴う駆け込み需要の反動により、着工件数が一時的に減少しました。加えて、住宅ローン金利の上昇、資材価格の高騰、労働者不足による人件費の増加などが建設コストを押し上げており、住宅購入意欲の回復には至らない厳しい状況が続いています。

当社グループにおいては、建設工事業において新築戸建住宅向けの各種工事、住宅等サービス事業において新規のシロアリ対策が低調に推移しました。一方で、既存の戸建住宅に対する中規模リフォーム工事、非住宅の建築物や商業施設の改修工事は堅調に推移し、業績を確保いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は5,343百万円(前中間連結会計期間比3.4%増)となり、営業利益は173百万円(前中間連結会計期間比24.4%増)、経常利益は185百万円(前中間連結会計期間比23.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は117百万円(前中間連結会計期間比21.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて6百万円増加し、7,464百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加117百万円があったものの、棚卸資産の減少44百万円、減価償却による建物及び構築物の減少32百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少16百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて39百万円減少し、2,777百万円となりました。主な増減は、未成工事受入金などのその他の流動負債の増加73百万円があったものの、支払手形及び買掛金の減少76百万円、長期借入金の減少49百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて46百万円増加し、4,687百万円となりました。主に利益剰余金の増加35百万円、その他有価証券評価差額金の増加10百万円があったことによるものであります。

(キャッシュ・フロー状況の分析)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、117百万円増加(前中間連結会計期間は50百万円の増加)し、当中間連結会計期間末には1,635百万円(前中間連結会計期間は1,600百万円)となりました。

当中間連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は、252百万円(前中間連結会計期間は245百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前中間純利益185百万円に加えて、棚卸資産の減少による資金の増加44百万円、売上債権及び契約資産の減少による資金の増加16百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、3百万円(前中間連結会計期間は155百万円の減少)となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入27百万円があったものの、定期預金の預入による支出27百万円、作業用工具の取得など有形固定資産の取得による支出3百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は、131百万円(前中間連結会計期間は40百万円の減少)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出49百万円、配当金の支払額81百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間におきましては、ほぼ計画どおりに業績が推移しておりますので、2025年5月9日発表の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,551,709	1,669,362
受取手形、売掛金及び契約資産	1,231,884	1,215,535
棚卸資産	1,119,322	1,075,210
その他	77,688	51,077
貸倒引当金	△600	△400
流動資産合計	3,980,004	4,010,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,221,423	1,188,926
土地	1,818,506	1,818,506
その他(純額)	19,694	21,066
有形固定資産合計	3,059,624	3,028,498
無形固定資産		
その他	13,914	12,850
無形固定資産合計	13,914	12,850
投資その他の資産		
その他	404,687	412,690
貸倒引当金	△425	△325
投資その他の資産合計	404,262	412,365
固定資産合計	3,477,802	3,453,714
資産合計	7,457,806	7,464,501

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	877,437	800,462
短期借入金	510,000	510,000
1年内返済予定の長期借入金	99,996	99,996
未払法人税等	70,380	67,958
賞与引当金	129,940	137,447
完成工事補償引当金	14,600	14,700
その他	281,266	354,809
流動負債合計	1,983,620	1,985,374
固定負債		
長期借入金	195,014	145,016
退職給付に係る負債	448,675	453,189
長期未払金	9,840	9,840
その他	179,595	183,718
固定負債合計	833,124	791,763
負債合計	2,816,744	2,777,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,072	186,072
資本剰余金	145,813	145,813
利益剰余金	4,259,535	4,295,524
自己株式	△1,883	△1,883
株主資本合計	4,589,537	4,625,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,524	61,837
その他の包括利益累計額合計	51,524	61,837
純資産合計	4,641,061	4,687,363
負債純資産合計	7,457,806	7,464,501

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,165,395	5,343,121
売上原価	3,877,463	3,961,414
売上総利益	1,287,931	1,381,706
販売費及び一般管理費	1,148,264	1,207,942
営業利益	139,666	173,763
営業外収益		
受取利息	139	1,391
受取配当金	1,299	1,601
受取手数料	1,334	1,350
受取保険金	5,364	1,817
受取賃貸料	9,298	10,555
その他	1,848	3,433
営業外収益合計	19,285	20,149
営業外費用		
支払利息	4,103	4,192
賃貸費用	4,284	4,637
その他	138	50
営業外費用合計	8,525	8,880
経常利益	150,426	185,033
税金等調整前中間純利益	150,426	185,033
法人税、住民税及び事業税	58,081	65,702
法人税等調整額	△4,023	2,279
法人税等合計	54,058	67,982
中間純利益	96,368	117,050
親会社株主に帰属する中間純利益	96,368	117,050

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	96,368	117,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△789	10,313
その他の包括利益合計	△789	10,313
中間包括利益	95,578	127,364
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	95,578	127,364

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	150,426	185,033
減価償却費	46,518	35,846
賞与引当金の増減額(△は減少)	29	7,507
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	1,600	100
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,537	4,513
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△968	△300
受取利息及び受取配当金	△1,439	△2,992
支払利息	4,103	4,192
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	184,732	16,348
棚卸資産の増減額(△は増加)	55,657	44,111
仕入債務の増減額(△は減少)	△63,226	△76,974
その他	△51,493	95,585
小計	332,477	312,972
利息及び配当金の受取額	1,439	2,992
利息の支払額	△4,205	△4,098
法人税等の支払額	△83,784	△59,056
営業活動によるキャッシュ・フロー	245,926	252,810
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△27,860	△27,862
定期預金の払戻による収入	27,860	27,860
有形固定資産の取得による支出	△154,920	△3,656
無形固定資産の取得による支出	△865	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,785	△3,658
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	-
リース債務の返済による支出	-	△441
長期借入金の返済による支出	△75,198	△49,998
配当金の支払額	△64,849	△81,062
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,047	△131,501
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	50,093	117,650
現金及び現金同等物の期首残高	1,550,314	1,517,636
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,600,408	1,635,287

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,495,841	740,542	923,460	5,159,844	—	5,159,844
その他の収益(注)2	5,551	—	—	5,551	—	5,551
外部顧客への売上高	3,501,392	740,542	923,460	5,165,395	—	5,165,395
セグメント間の内部売上高 又は振替高	193	—	763	956	△956	—
計	3,501,585	740,542	924,223	5,166,352	△956	5,165,395
セグメント利益	86,560	117,766	70,967	275,294	△135,627	139,666

(注) 1. セグメント利益の調整額△135,627千円には、セグメント間取引消去15,966千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△151,594千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,629,901	726,028	976,377	5,332,307	—	5,332,307
その他の収益(注)2	10,813	—	—	10,813	—	10,813
外部顧客への売上高	3,640,714	726,028	976,377	5,343,121	—	5,343,121
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,250	—	652	1,902	△1,902	—
計	3,641,964	726,028	977,030	5,345,023	△1,902	5,343,121
セグメント利益	142,327	100,162	82,004	324,495	△150,731	173,763

(注) 1. セグメント利益の調整額△150,731千円には、セグメント間取引消去14,231千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△164,962千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。